

『食でつながるフェスタおおさか』参加申込書

2022年12月11日(日)

※下記QRコードよりweb申し込み又はFax、メールでお申し込みください。

FAX: 06-6651-6124

Mail: ibasyo.osaka2020@gmail.com

締め切り 12月2日(金) 必着

<<申込用紙>>

団体名		
参加者氏名		
参加者氏名		
第一部 10:00~ 11:30	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
第二部 13:00~ 16:00	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン
連絡先		Mail
※/パネル展示および情報提供コーナーを設けます。 <input type="checkbox"/> パネル展示希望 <input type="checkbox"/> 情報提供・チラシ設置希望		

当日会場内は飲食可能です。近隣に飲食店が少ないため、昼食は各自でご用意ください。

◇webフォームでのお申込み◇

QRコードを読み込み、下記のアドレスを入力し申し込みページ
で必要事項を入力し送信ボタンを押してください。

URL: <https://forms.sle/9DOF4ev1hLkuja2c7>



◇会場へのアクセス◇

「丸善インテックアリーナ大阪」
〒552-0005
大阪府大阪市港区田中3-1-40
TEL: 06-6576-0800



最寄り駅

・Osaka Metro 中央線 「朝潮橋」駅下車
2-A出口 徒歩約3分

2022 **12.11 Sun**

「すべては子どもたちのために」

食でつながるフェスタおおさか

参加無料

場所: 丸善インテックアリーナおおさか
大会議室(地下3階)

一部 10:00~11:30 (受付 9:30~)

二部 12:30~16:00 (受付 12:00~)

※会場内は飲食可能です。周辺に飲食店が少ないため昼食は各自でご用意ください。

参加方法: 会場参加またはオンライン参加
定員: 会場100人/オンライン100人

<主催> 一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか
食でつながるフェスタおおさか実行委員会

<共催> 一般社団法人全国食支援活動協力会

<協力> 生活協同組合おおさかバルコープ・本願寺津村別院(北御堂)
社会福祉法人八尾隣保館、社会福祉法人大阪ボランティア協会
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会(調整中)
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア・市民活動センター

<後援> 大阪府(申請中)・大阪市(申請中)

お申し込みはこちらのQRコードから



<第一部> 10:00~11:30 (受付9:30~)

『地域へつなげる支援』 ～子どもを取り巻く困難な環境～

ふだんわたしたちが関わる子どもたちを取り巻く困難な環境。大人目線ではなく、子どもに寄り添った視点で関わる事ができていますか？様々な環境にどう対応していくか、自分だけで抱え込まず上手に地域と協力しサポートできる環境づくりのヒントがここにあります。

認定特定非営利活動法人

スチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口 仁史氏

*NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』平成27年8月31日放送出演
*NHK『地域魅力化ドキュメントふるさとグングン!』平成29年11月19日放送出演



佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPOスチューデント・サポート・フェイス(略称S.S.F)」を設立。令和4年3月末現在、委託事業を含む約5万2千件の相談活動、約5万2千件のアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的うけ皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。近年はその実績が認められ、公的委員を歴任。「社会保障審議会特別部会」「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」「子ども政策の推進に係る有識者会議」等政府系委員も務め、全国的な取組の推進に貢献している。

パネル展示・情報提供コーナー設置
(プログラム開始前や終了後・お昼休みにご覧ください)

- ・NPO法人ふうせんの会 (ヤングケアラーのつどい)
- ・一般社団法人 全国食支援活動協力会
- ・大阪の各地の子ども食堂 など

展示やちらしを
設置したい
団体や企業も
募集中。



<第二部> 12:30~16:00 (受付12:00~)

点
は
じ
ま
る

「子どもと繋がる
家庭をささえる」

12:40~13:40

事例報告

- ・あまのがわ子ども食堂(交野市)
発表者 松村 紘子さん
- ・高殿子ども食堂あいのね(旭区)
発表者 永田 華子さん
- ・ルファルふれあい会フードバンク(枚方市)
発表者 末岡 妙子さん

地域の子ども食堂さんも、コロナ禍のもと、新たな支援のかたちとして、「フードドライブ(無料食材配布)」に取り組む団体も拡がりました。子ども食堂では、見えなかった新たな課題、そして新たな繋がり。今回、3つの団体の実践報告をお願いします。

コーディネーター
生活協同組合おおさかパルコープ 松岡 賢司

「子ども食堂ならではの
個別支援とは？」

線
で
つ
な
が
る

13:45~14:30

相談事業報告

- ・こどもの居場所サポートおおさか
個別支援アドバイザー 吉村 敏幸
- 事例報告
- ・わいわい親子晩御飯(東成区)
発表者 柳 晴美さん
 - ・こどもの居場所まーる(西成区)
発表者 小西 きよみさん

子ども食堂では、コロナ禍より個別支援を必要とする機会が増えました。福祉の専門職でも、行政でもない子ども食堂だからこそできる個別支援のあり方。一緒に考えてみませんか。

コーディネーター
一社) こどもの居場所サポートおおさか 吉村 敏幸

「活動継続のための
面で
さ
さ
え
る
」
ネットワーク強化を考える」

14:40~15:40

事例報告

- ・中央区こどもの居場所連絡会
発表者 中納 宏之さん
- ・住吉区地域・子ども食堂連絡会
発表者 浅田 裕見子さん
- ・あらかわ子ども応援ネットワーク(荒川区)
発表者 鈴木 訪子さん

地域の活動継続には、住民役員会、学校、企業、行政などの連携が不可欠です。きっかけ、方法、つながりのあり方などを考え共有します。

コーディネーター
一社) こどもの居場所サポートおおさか 脇坂 博史

「点から面へ地域へつなげる」

15:45~16:00

パネルディスカッション

パネラー 平野 寛治 (一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事)
横田 弘美 (一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか 代表理事)

